

令和 5 年度		3 学年	普通 科		
教科名	理科	科目名	生物探求		
			2 単位		
1. 学習目標					
生物と遺伝子、生物の体内環境の維持、生物の多様性と生態系の3分野をさらに精査し、より深い理解が得られるようにする。そのために、具体的な問題に取り組み生物を体系的に理解する。					
2. 使用教材等					
・教科書名 改訂版 生物基礎（数研出版）					
・副教材名 チェック&演習 生物基礎（数研出版）					
3. 学習項目（学習内容）					
学期	月	単元・学習内容	学習の留意点 評価のポイント	時間数	考査
1	4	第1章 生物の特徴 ①生物の多様性と共通性 ②細胞とエネルギー	・生物は多様でありながら共通性を持つことを理解する ・エネルギーと代謝について理解する	10	中間考査
	5				
	6	第2章 遺伝子とその働き ①遺伝現象と遺伝子 ②遺伝情報の複製と分配 ③遺伝情報とタンパク質	・DNAの特徴とその遺伝情報に基づきタンパク質が合成されることを理解する	12	期末考査
2	8	第3章 ①体液とその働き ②生体防御 ③生体環境の維持のしくみ	・内部環境としての体液について理解する。 ・免疫の仕組みを理解する。 ・恒常性の維持の仕組みについて理解する。	16	中間考査
	9				
	10				
	11	第4章 ①生物の多様性とバイオーム ②バイオーム形成過程 ③バイオームとその分布	・様々なバイオームについてその形成と分布について理解する ・生態系の物質循環についてまなび、その保全の重要性を理解する	20	期末考査
12	第5章 ①生態系 ②生態系のバランスと保全 ③生態系の保全				
3	1	4月からの内容の応用問題		12	期末考査
	2				
	3				
4. 評価の観点					
①関心・意欲・態度	積極的かつ集中した取り組みができたか				
②思考・判断・表現	科学的な見方や考え方を理解を深め表現することができたか				
③技能	観察・実験の技能を身につけ理解することができたか				
④知識・理解	科学的知識を身につけることができたか				
5. 評価の方法					
・定期考査： 中間考査、期末考査を行う。評価基準点に達しない場合は単位認定を行わない。					
・課 題： 通常授業内のプリントの提出状況を成績に反映させる。					
・授業態度： 出欠席や遅刻早退の状況を中心に考慮する。					
・実験レポート： レポートの結果や考察・感想の的確さを点数化して評価する。					
6. 学習にあたっての注意とアドバイス					
(1) 問題集を主として学習を進める。 (2) 確認テストを行い評価点を与える。 (3) 実態に応じて進度や内容を変更することがある。					